

令和5年度 グーフィークラブ事業計画

1. 概要

①運営方針

- 子どもが安心・安全に過ごせる家庭に代わる生活の場を提供し、落ち着いた環境の中で適切な遊びや生活ができるように運営していきます
- 異学年との関わりや子ども主体の活動を行う中で子ども一人ひとりの資質、能力を育みます。
- 利用者のニーズに応え、利用者が安心して利用できるように努めます。
園の近隣の小学校に通う子どもの減少等により下校後の利用者は少なく、学校の長期休みの利用者が増えています。
- 園内年長児との交流会を定期的に行い、園児の就学に対する意識づけのサポートをする役割を担います。

②定員 20名

ただし、必要に応じてスポット利用を受け付けます。また、夏休みなど長期休暇のみ利用の受け入れもします。

③事業日数 291日 (日曜、祝日、園行事、12/30～1/4は休園)

④開所時間

平日 7:00～19:00 (7:00～8:30・18:00～19:00は延長)
土曜 7:00～18:30 (7:00～8:30・18:00～18:30は延長)

⑤職員数 指導員 4名 (教員免許または保育士資格有)

2. 事業運営

①教育理念

- 放課後の生活を安全に守り、基本的な生活習慣の指導や学習の習慣づけの援助を行う
- 子ども同士共同しながら生きる力を育む

②教育方針

1. 生活の流れを把握し、リーダーを中心に子ども主体の活動を行いコミュニケーション力をつける
1. 正しい生活習慣を定着させる
1. 他律から自律へと成長していく過程を援助する
1. 個々の存在を認める

③学年別目標

1、2年生

- 大事なことを聞く力、話題に沿って話し合う態度を身につける
- 集団の一員として自分の役割について気づき、適切な行動ができるようにする

3、4年生

- 筋道を立てて話す力、聞く力、話し合う力を身に着ける
- 目的を持って仲間とともにやり遂げる力を育む

④職員配置 学童保育指導員 4名（教員免許または保育士資格有）

⑤活動内容

- 子どもたちが主体的、対話的、意欲的に生活や遊びを作り上げ、協力し合い、発展させながらコミュニケーション力を育む活動を行います
- 子どもが自主的に学習に取り組めるように習慣づけ、学校の宿題を中心に学習指導を行います
- 集団生活を通して人間関係、思いやりの心や考える力などが育めるよう努めます
- 戸外遊びを多く取り入れ思い切り身体を動かし遊びの充実を図ります
- 季節行事の製作や園内行事を通して日本や外国の伝統や文化、風習などを学びます
- 乳幼児クラスに入りお手伝いをする事で自己肯定感を高めます
- 保小連携（当園の年長児が安心して学校生活に円滑に移行して行けると共に、グーフィークラブの子どもたちが自分の成長に気づき、自信に繋がるような交流活動を行います）
- 野外活動を楽しみながら四季の変化や生活技術、社会のルールを学びます

⑥家庭との連携

- 毎月、活動内容を報告する「おたより」を配布します
- 連絡帳、お迎え時などを通し、子どもの活動や様子を伝えるとともに、気になる子に関しては随時面談を行います
- 年に2回個人面談を行い家庭、学校、学童クラブでの子どもの様子を共有します

⑦人材育成

- 職員の資質向上及び専門性の向上を図るため、園内研修・園外研修へ参加します

⑧地域貢献

- 出張保育、園庭開放の手伝い、保育参加
- 瓢箪山公園の清掃
- 地域の小学生の親子に対して相談対応を行います

⑨健康・安全

- 子どもの表情や様子の把握、異変に素早く気付き的確な対応を行います
- 生活習慣、衛生管理の定着を図ります
- 保護者、学校、地域と連携し、登下校時の安全確保を行います
- 警報発令時や急な学校（学級）閉鎖などの際は保護者、学校と連携し子どもの所在確認と安全確保を行います
- 看護師による園内救急講習に参加します（AEDの使い方、応急処置など）

⑩苦情解決

- 「苦情申し出窓口」（指導員が受付担当者）、「御意見箱」を玄関に設置し、個人面談、連絡ノート、アンケートなどで保護者の意見を聞き、頂いた意見や要望については概ね24時間以内に回答し、活動に反映させます。なお、回答については掲示板や広報に掲示をします

⑪リスクマネジメント

- 学校から園までの帰り道で不審者や危険を感じたことは帰園後すぐに子どもから職員に報告するように子どもたちに伝えてあり必要に応じて保護者、学校に連絡を入れるようにしています
子ども同士のトラブルや危険行為などに関してはなぜ危険なのかを一緒に考え、改善方法を当事者同士やクラス全体で話し合いを行います
- 怪我や事故には十分に注意を図りますが、子どもたちにも安全に活動できるよう適切な指導をするとともに、原因を究明し、再発の防止に努めます。また、必要に応じて迅速に医療機関への受診をします
- 災害時の避難場所、避難方法などについて子どもたちと一緒に体験し災害時の行動について学習します